

危険の見える化(リスクアセスメント)資料 (第2版)

公益社団法人建設荷役車両安全技術協会長野県支部

2018年5月

まえがき（第2版）

建設荷役車両機械は産業に大きく貢献する一方で、大きなパワーを有するがゆえに重篤な労働災害を発生させております。また、技術の進展や環境の変化により、いままでにはなかったような危険も出てきており、従来とは異なる対応が必要になってきております。

このような状況の変化に対応して、労働安全衛生法第28条の2（事業主の行う調査等）においてリスクアセスメントの実施が義務付けられ、（公社）建設荷役車両安全技術協会でもリスクアセスメントの導入を推進しているところであります。

このような動きに呼応し、（公社）建設荷役車両安全技術協会長野県支部では、潜在する危険を意識し対策する方法として「危険の見える化」モデルを作成し、事故・災害の発生を未然に防ぐ取り組みを進めております。

機械の整備・点検の作業では、安全装置を外した危険な状況に手を入れざるを得ないという特性に応じた取り組みが必要になります。

そこで当支部では、日本で開発され多くの企業で取り入れられてきた5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）、KY（危険予知）の手法を復習しつつ、リスクアセスメント（危険の見える化）を実施し、重症の発生予防と設備による対策を優先しながら、5S、KYをツールとして効果的に用いることにより、重大災害を防ぐこととしております。

第2版では、災害の発生機序を見直した上、人間の行動に着目した取り組みに重点を置いて編集し直しました。

管理者をはじめ検査者の方々が、本資料を活用されて災害の未然防止に積極的・継続的に取り組まれるよう切望いたします。

平成30年5月

公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会長野県支部

支部長 小林興宣

本資料は、（公社）建設荷役車両安全技術協会長野県支部研修委員会 リスク
アセスメント検討小委員会が作成・編集いたしました。

リスクアセスメント検討小委員会

倉科晴吉	株式会社望月組
田中 豪	株式会社前田製作所
松澤 忠	トヨタエルアンドエフ長野株式会社
松田拓道	公益社団法人建設荷役車両安全技術協会長野県支部
遠藤和好	同上

危険の見える化(リスクアセスメント)資料(第2版)

目 次

	ページ
1 「建荷協のリスクアセスメント(危険の見える化)の進め方」 ..	1
1-1 リスクアセスメント(危険の見える化)の必要性	1
1-2 事故が発生した時の企業の責任	4
1-3 労働災害防止の進め方の変化	5
1-4 建荷協会員事業場の特性	5
1-5 建荷協での進め方(3段階ステップアップ方式)	6
5S(第1ステップ)	7
KY(第2ステップ)	8
リスクアセスメント(危険の見える化)(第3ステップ)	8
1-6 リスクアセスメント(危険の見える化)と5S、KYの関係	9
1-7 目的と目標を定めよう	9
参考資料1「危険性又は有害性等の調査等に関する指針」	11
2 「5S活動」	13
2-1 5Sにより職場の潜在的問題が見えてくる	13
2-2 5Sで職場がよみがえる！	14
職場の現状チェック	14
2-3 5Sの意味	15
2-4 5Sの効果	15
2-5 5Sを実行する	18
(1)5Sの足並みをそろえる	18
(2)5Sの役割分担	18
(3)現状の把握と評価	19
(4)目標の設定	20
5Sの現状レベル判定基準	20
(5)計画の立案	21
(6)実行	22
(7)評価	24
(8)対策	24
2-6 5S実習	24

5S実習シート(フォークリフト)	25
5S実習シート(建機)	26
参考資料2_「5Sの進め方」	27
参考資料3_「チェックリスト」	32
参考資料4_「年間計画表例」	35
参考資料5_「月間計画表例」	36

3 「KY活動」	37
3-1 KYで安全管理がよみがえる	37
3-2 (1:29:300)の法則	38
3-3 ヒヤリハット発生に対する社長の選択	39
3-4 危険予知訓練(KYT)・危険予知活動(KYK)の意味	39
3-5 KYのねらいと効果	40
3-6 KYを実行する	40
(1)まずは危険予知訓練(KYT)から始めましょう!	40
(2)次は「危険予知活動」(KYK)です!	46
指差し呼称	47
一人現地KY	50
3-7 KYの実習	50
危険予知訓練レポート	51
KY実習シート(フォークリフト)	54
KY実習シート(建機)	57

4 「危険の見える化(リスクアセスメント)」	59
4-1 重大な事故を未然に防ぐ	59
4-2 人間が行動することにより災害となる	60
4-3 危険はどのように見えているか	60
4-4 危険はどうしたら見えるか	61
① どこに ② どのような危険があつて	62
③ どれだけ危険か	62
③-1 危険なことが起こる可能性	63
③-2 生じる被害のひどさ	65
③-3 危険度(リスク)を数値で表す	65
③-4 危険度(リスク)評価表を作成する	66

③-5	危険度(リスク)の判定基準	66
③-6	危険度(リスク)の判定	67
4-5	安全性確保はどうか	67
4-5~1	危険度(リスク)低減対策	68
4-5~2	本質的安全原則	68
4-6	リスクアセスメント(危険の見える化)の実施	69
	リスクアセスメント実施表記載例	70
4-6~1	この危険のポイント(ワナ=思惑違い)は何か	72
4-6~2	残留危険対策と未然防止対策及び留意点	72
4-6~3	リスクアセスメント(危険の見える化)はいつ行うか	73
4-6~4	どのように進めるか	73
4-7	リスクの重層性	74
4-8	実施に当たっての留意点	74
4-9	リスクアセスメント(危険の見える化)実施の流れ	76
4-10	「リスク」に基づく安全とは	76
	参考資料6_検査・整備業におけるハザード	77
	参考資料7_作業手順書例(フォークリフト)	83
	参考資料8_作業手順書例(建機)	84
4-11	危険の見える化(リスクアセスメント)演習	91
(1)	班編成と発表	91
(2)	リスクアセスメント実施表の記入	92
(3)	グループ発表	93
(4)	講評、意見交換	93
	リスクアセスメント実施表(演習用)	94
	実習事例シート(フォークリフト)	95
	実習事例シート(建機)	97

<各種様式>

5S点検シート	100
年間計画表	101
月間計画表	102
KYシート	103
リスクアセスメント実施表	104

